	т		で行うける記入していていたことでは文語音がままれる。
1	基本情報	受付日	受付:R3年4月20日
		担当者	滋賀 美子 ケアマネ
		氏名(性別)	K 様(男性)
		年齢	86歳
		住所	○市○町1-1-20
		その他	妻と2人暮らし
2	生活状況	生活歴と現状	若いころは、時計職人として勤め、その後 35 歳の時に独立して時計屋を開
			業。妻とは 25 歳に知り合い結婚。二男一女をもうけ、子供は独立して現在は
			妻と2人暮らし。75歳ころより、咳が時々出るようになった。体力には自信があ
			ったため、50 代からの近所仲間とのゲートボールを楽しんでいたが、公園から戻
			る途中から倦怠感が強く、呼吸ができないような息苦しさを覚え、ゲートボール
			にも顔を出さなくなった。20 歳過ぎからのタバコ好きだったが、外出が少ないこの
			頃は、1 日 1 箱半も吸っていることもしばしばである。妻の勧めで、近所の内科
			を受診した際、「COPD(慢性閉塞性肺疾患)の疑いがあります。」といわ
			れ、検査の結果、在宅酸素を開始することになった。
			それでも、訪問すると室内にタバコのにおいがしていて、妻の話によると外の物置
			の陰にタバコの吸い殻が捨てられていることもあり、「酸素を吸っているのに心配」
			とも言われている。
			先日は、妻が買い物から帰った時に、風呂に入り風呂場で意識を失って倒れて
			いた。救急搬送され、呼吸困難による失神であったと説明を受けた。妻もおちお
			ち外出していられないと不安を持っている。
		家族状況	妻87歳と2人暮ら
			74.75
			子どもは独立・妻も要支援2 (高血圧症・糖尿病性白内障手術予定)
3	被保険者情報	国民健康保険	
		介護認定:要介護 2	
		介護保険サービス利用(案):訪問看護毎週1回	
			:訪問介護(火・土)生活支援と風呂介助
			:通院時はヘルパー送迎
			:デイサービス週2回(月曜日、水曜日)
4	医療	・近所の内科 F 医師より以下の内服薬処方:1月に1回通院	
		/ルバスク5 mg (5 mg) /1 日 1 回服用	
		ツロプテロールテープ 1 m g /1 日 1 回貼り替え	
		ブリカニール錠 2 m g / 1 日 3 回服用	
		テオロング錠 200mg/1 日 2 回(朝・就寝前)	
	(中央 中央 ナイン・)	クリアナール錠2(0 0 m g /1 回 2 錠/1 日 3 回服用
5	障害高齢者の		
	日常生活自立度	/ <u></u>	-L->±-=7, +-+)
6	認知症高齢者の	(本来は意見書	から転記します)
	日常生活自立度		

7	主訴	相談者	初回:妻	
		相談内容	本人の病状が進行しているのか呼吸困難もあり、在宅酸素も開始した。	
		家族	子どもは独立し、遠方に居住していて頼ることができない	
8	健康状態	病名	① COPD	
			② 高血圧症	
		主治医	① 近所の内科医師 A	
9	ADL	麻痺等:なし		
		寝返り:行うことができるが息苦しく時々覚醒することしばしば		
		座位保持:座位を保つことができる		
		立位:可能だが起立時のふらつきがある		
	移動:室内は自ら移動可能。酸素吸入をしているため、範囲が限		ら移動可能。酸素吸入をしているため、範囲が限られる	
		更衣:妻が介助	することが多くなった	
		入浴:自分で好	きな時間に入るが、入浴後の呼吸困難が出現している	
		食事:食欲はあるが呼吸が苦しいため、少量になった		
		排泄:尿意はあり自らトイレ利用。便意があるが水分摂取が少ないせいか、最近は便秘がある		
10	IADL	調理・掃除:70 歳くらいまではこまめに掃除など行った		
		買い物:近所の	スーパーに出かけタバコを購入している様子	
		金銭管理:自ら	ל ַ דַ	
		服薬管理:昼間午睡をするため、生活リズムが崩れているため、服用を失念してい		
		電話利用:町内	会の電話と子供から時々電話があり短い会話をしている	
11	コミュニケーション	妻と会話も少なく	なった。在宅酸素を利用するようになり、ますます外出や近所付き合いも減った	
	能力			
12	社会とのつながり	市営住宅のため、	近所とは旧知の仲。近所の主婦が時々縁側でお茶飲み会をしている	
13	排尿·排便	あり		
14	褥瘡•皮膚	褥瘡なし		
15	口腔清掃	朝は食後の歯磨きをしていたが、最近すぐ寝てしまう		
16	特別な状況	病状の急激な変化への備え		
17	周辺資源	図 2		

